

認定カウンセラー養成カリキュラムによる

# 第131回 日本カウンセリング学会 静岡研修会

2017年11月25日(土)・26日(日)

静岡県産業経済会館 (4面に地図)

主催 日本カウンセリング学会

協力 日本カウンセリング学会静岡県支部

後援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、  
浜松市教育委員会、日本学校教育相談学会静岡県支部

例年好評を頂いてきましたが、今年度も日本カウンセリング学会の研修会を静岡で開きます。今回もすばらしい先生方に講師をお願いすることが出来ました。静岡は地理的にも多くの方が参加しやすいところです。皆様ふるってご参加ください。

実行委員長(静岡県支部長) 藁科 正弘

## 1. 講座のご案内 No.1は15時間コース、No.2～No.5は7.5時間コース

講座	講座内容	領域	時間	定員	講師
No.1	25日 「解決志向ブリーフセラピー実践講座Ⅰ」	C	7.5時間	40名	黒沢幸子 先生 目白大学特任教授
	26日 「解決志向ブリーフセラピー実践講座Ⅱ」	C	7.5時間		田中ひな子 先生 原宿カウンセリングセンター主任
No.2	25日 「精神分析概論」	A	7.5時間	40名	磯田雄二郎 先生 焼津病院副院長・静岡大学名誉教授
No.3	25日 「特別支援教育のアセスメントと対応」	B	7.5時間	40名	高橋あつ子 先生 早稲田大学教職大学院教授
No.4	26日 「カウンセリング概論」	A	7.5時間	40名	鈴木由美 先生 聖徳大学教授
No.5	26日 「新世代の認知行動療法 -マインドフルネス-	C	7.5時間	40名	松田英子 先生 東洋大学教授

## 2. 日程

9:30 10:00

12:30 13:30

18:30 19:00 21:00

第1日目 11月25日	受付	2.5時間	昼食	5時間	懇親会
第2日目 11月26日	受付	3時間	昼食	4.5時間	

9:00 9:30

18:00

## 3. 参加費

日本カウンセリング学会静岡県支部会員

日本カウンセリング学会会員

日本学校教育相談学会会員

一般

学生(社会人学生は除く)

懇親会(参加希望者、近隣の会場にて)

講座 No.1

No.2, 3, 4, 5

22,000円

11,000円

27,000円

13,500円

15,000円

7,500円

5,000円

## 7. 研修ポイント

「日本カウンセリング学会認定カウンセラー」

「臨床心理士」

「日本学校教育相談学会認定学校カウンセラー」

「教育カウンセラー協会認定教育カウンセラー」等

のポイントになります。

4. 申し込み期間: 2017年8月1日 ~ 2017年11月13日まで

5. 申し込み方法: 次のHPの申込フォームからお願いします。

<http://cg-shizuoka.jugem.jp/>

できるだけインターネットからの申し込みをお願いします。

(日本カウンセリング学会静岡県支部で検索してください。)

6. 送金・受付完了・返金: 2面、連絡先・FAXの申し込み: 4面に掲載しています。

・**学生**:学生の方は学生証のコピーを添付してください。 ・**郵送の申し込み**:コピーをとっておいてください。

・**送金**:申込書送付から1週間以内に下記に送金をお願いします。

**ゆうちょ銀行 記号 12310 番号 44684641 静岡県支部研修実行委員会**

・**受付完了**:受講料の送金確認で受付完了となります。受付完了のご連絡をいたします。

・**参加取り消し**:ご本人の都合による参加取り消しの場合は納入された費用は返金できませんのでご了承ください。

ただし、事前にご連絡いただいた場合は、代理人の参加が可能です。連絡先は4面にあります。

## 講座1 解決志向ブリーフセラピー実践講座 黒沢 幸子 目白大学特任教授 田中ひな子 原宿カウンセリングセンター

よりよい生活や望む未来を手に入れるために、何に注目しどんな会話を行えばよいでしょう？ 問題や原因に注目するのではなく、解決志向ブリーフセラピー (Solution-Focused Brief Therapy) は、クライアントは十分なりソース (資源) と強さをもっており、自身の人生の専門家であると考え、その望む未来の状態をクライアントと協働してつくり出していく、肯定、尊敬、安全性を特徴とする効果的・効率的なアプローチです。個人のカウンセリングから、家族、学校やコミュニティ場面、また被害者支援やトラウマの治療的なカウンセリングまで、幅広く応用されています。

今回は、2人の講師が1日目と2日目に分かれて、その持ち味を存分に発揮して進めていきます。ワークやデモンストレーションを通して、しっかり楽しく学んでいただきます。テストは2日目の終了後に行います。



### 黒沢幸子先生

【自己紹介】上智大学大学院修了後、医療・学校・産業領域のカウンセラー、東京大学大学院客員研究員、上智大学・立教大学等非常勤講師を経て、目白大学心理カウンセリング学科助教授、教授。臨床心理士。1998年から KIDS カウンセリング・システムを立ち上げ、解決志向ブリーフセラピー等の研修・臨床実践を展開。日本ブリーフサイコセラピー学会賞。

主な書著は、『森・黒沢のワークショップで学ぶ解決志向ブリーフセラピー』『指導援助に役立つスクールカウンセリング・ワークブック』『タイムマシン心理療法：未来解決志向のブリーフセラピー』『ワークシートでブリーフセラピー』『やさしい思春期臨床』他多数。



### 田中ひな子先生

【自己紹介】立教大学大学院社会学研究科修士課程修了後、教育相談室などを経て、原宿カウンセリングセンター主任。臨床心理士。日本ブリーフサイコセラピー学会常任理事。摂食障害、PTSD、虐待・暴力、不登校などの臨床に携わる。精神保健福祉センター、男女共同参画センターなどで研修を行っている。

主な著書 (いずれも分担執筆) は、『摂食障害の家族心理教育』金剛出版、『PTSD 人は傷つくとどうなるのか』日本評論社、『不登校・ひきこもりに効くブリーフセラピー』日本評論社、他。

## 講座2 精神分析概論 磯田雄二郎 焼津病院副院長 静岡大学名誉教授

精神分析療法はS・Freud (1856~1939) が創始した治療法です。今回はFreudの精神分析学を概念的に学びながら、治療法としての精神分析療法を行うときに、治療者として心がけなければならない様々なことについて触れていきます。特に出会いから別れ、つまり初回面接から終結に到るまで、治療者、クライアント双方の心の内に起こる心理的力動について、事例に触れながら詳しく述べたいと考えています。



【自己紹介】東京大学医学部医学科卒業、静岡大学保健学生センター講師、東京大学保健センター講師、静岡大学大学院人文社会学研究科長・教授を歴任、静岡大学名誉教授、医学博士。現在焼津病院院長。集団精神療法、なかでもサイコドラマの研究を専門とする。オーストラリアにおいてモレノ・J・Lの弟子クレイトン・Mに師事してオーストラリア・ニュージーランド協会認定サイコドラマ・ディレクターのライセンスを取得。日本集団精神療法学会常任理事、日本心理劇学会常任理事、国際集団精神療法学会常任理事で日本における古典的サイコドラマの第一人者。また慶応大学の精神分析セミナーに参加し、精神分析の教育、訓練を受けると共に、日本のクライン派精神分析家の嚆矢である山上千鶴子氏に師事。その後ビオン、メルツァー等の研究を行っている。

主な著書訳書は、『サイコドラマの進め方』(共著) 金剛出版 1987、『エッセンシャル・モレノ(監訳)』金剛出版 2000、『集団精神療法の基礎用語』(共著) 金剛出版 2003、『サイコドラマの理論と実践』誠信書房 2013 他。論文多数。

### 講座3 特別支援教育のアセスメントと対応 高橋あつ子 早稲田大学教職大学院教授



臨床家としては、その方の実態を見つめ、何が必要な支援かを探る責任がある。専門職としてのアセスメントは的確なツールを選び、強みと弱みをクリアに示し、その方の自己理解や権利擁護を後ろ支えする。生活に関わる援助職には、インフォーマルアセスメントの力が求められる。教育職には、アセスメントに基づき効果的な支援策を組み立てる力が要る。当日は、アセスメント手法を広げ選び取り支援と結び付ける力をつける講座としたい。

1. 支援に必要なアセスメント 2. 読み書き障害のアセスメントと支援 3. 行動面の支援ニーズに対応するアセスメントと支援 4. 合理的配慮と権利擁護のためのアセスメント

【自己紹介】 公立小学校障害児学級、通常の学級担任、教育センター指導主事、公立小学校教頭を経て2008年より早稲田大学教職大学院准教授。2015年より同教授。学校心理士スーパーバイザー、臨床心理士、特別支援教育士スーパーバイザー。

著書は『自閉症のともだちを理解する本』（共編）合同出版2010、『特別支援その子に合ったサブルート探し』（編著）ほんの森出版2012、『発達に偏りのある子のトラブルを減らす自己理解イラスト教材』（共著）同2015他。

### 講座4 カウンセリング概論 鈴木由美 聖徳大学児童学部教授



カウンセリングの定義を明らかにし、カウンセリングとカウンセリング心理学との違いを理解、またカウンセリングのプロセスについて説明いたします。そして主なカウンセリング理論を4つ学びます。ジグムント・フロイトの精神力動学アプローチ、カール・ロジャーズのパーソン・センタード・アプローチ、アルバート・エリスの論理情動行動療法（REBT）、アーノルド・ラザルスの多面的アプローチについて理論と技法を紹介し、各理論の比較について述べたいと思います。また芸術療法をつかったカウンセリングについても紹介いたします。実際にキャンドルを作成し、その作品を使ってグループカウンセリングを行います。理論の学習・実際の作品による実践を組み合わせ、カウンセリングについてより深く理解できるように学習していきたいと思っています。

【自己紹介】 専門はカウンセリング心理学。筑波大学大学院 修士カウンセリング 現在の研究テーマは大学生のグループ活動においてコミュニケーションを行うための課題について調査を行っている。またコミュニケーションをロボットと行った場合、前頭葉の脳血流はどのように変化するのか研究を行っている。

著書（共著）『教師が使えるカウンセリング』ぎょうせい、『学校心理学ハンドブック』教育出版 他多数。

### 講座5 新世代の認知行動療法 - マインドフルネス - 松田英子 東洋大学教授



認知行動療法は、学習理論を基盤にした第一世代（行動療法）から、社会的学習理論と認知機能主義の影響を受けた第二世代（認知行動療法）と発展し、認知技法と行動技法と併用しながら、各種精神疾患や問題行動に対する治療効果のエビデンスを示してきた。その中でも効果が挙がりにくい対象向け、さらに再発率の低下に寄与する技法がさらに工夫され開発された第三世代の認知行動療法が近年着目されている。第三世代の認知行動療法のうち、マインドフルネス認知療法とマインドフルネスストレス低減訓練を取り上げ、適宜実習を取り入れながら進める。なお、本講座は第二世代までの認知行動療法に関する基礎知識がある方向けである。

【自己紹介】 石川県金沢市出身。お茶の水女子大学文教育学部卒業、同大学院人文科学研究科修了、同大学院人間文化研究科単位取得満期退学、博士（人文科学）。江戸川大学社会学部人間心理学科教授、江戸川大学学生相談室長を経て、現職。放送大学大学院文化科学研究科人間発達科学プログラム客員教授。（株）フィスメックの産業カウンセリングEAP事業部の臨床心理士を勤めるなど、産業分野において活動。横浜市教育委員会特別支援教育専門家チームのメンバーとして、発達障害の子育て支援、教育支援に関わる。

著書は、『夢と睡眠の心理学—認知行動療法の立場から』風間書房、『図解 心理学が見る見るわかる』サンマーク出版、『夢想起メカニズムと臨床的応用』風間書房、『睡眠の個人差の理解と心理支援～眠りにまつわる問題解決のために～』フィスメック、『パーソナリティ心理学』（共著）培風館、『行動科学ブックレットシリーズ 眠る』二瓶社 他多数。

切日が過ぎても定員に満たない場合には、受付期間を延長いたします。お問合せください。

**郵送・問合わせ先**

日本カウンセリング学会静岡県支部  
 研修委員会 担当 川島  
 〒424-0204  
 静岡市清水区興津中町625-1・4-502  
 Emai: kenshu.shizuokashibu@gmail.com  
 Tel/Fax 054-369-4760



静岡駅北口からバス 3分  
 徒歩 15分  
 バス乗り場:静岡駅北口  
 7番(用宗線以外)・8番  
 中町下車

**会場** 静岡県産業経済会館 (2階)  
 静岡市葵区追手町 44-1 054-273-4330



**ファックス用研修会参加申込書**

FAX 054-369-4760 送信日 年 月 日

第131回 日本カウンセリング学会・静岡研修会参加申し込み		
ふりがな	区分 (レ点)	連絡先
氏名	<input type="checkbox"/> 日本カウンセリング学会静岡県支部会員	○をつける
	<input type="checkbox"/> 日本カウンセリング学会会員	自宅
会員番号	<input type="checkbox"/> 日本学校教育相談学会会員 (以上の方は会員番号記入してください)	勤務先
	<input type="checkbox"/> 一般参加 <input type="checkbox"/> 学生	
自宅	住所 〒	緊急の場合に確実に連絡がとれる連絡先をご記入ください。
	携帯・Tel(          ) Fax(          ) Email:                  @	
勤務先	名称	
	住所 〒 Tel (          )                  Fax(          )                  -	
参加費	区分	金額
研修参加費 ○をつける	1.本学会静岡県支部会員    2.本学会会員 3.日本学校教育相談学会会員    4.一般    5.学生	円
懇親会	1.参加する    2.参加しない	円
合計金額		円

**希望する講座** 希望順位に○をご記入ください。

希望順位/講座	No.1 (25/26日)	No.2 (25日)	No.3 (25日)	No.4 (26日)	No.5 (26日)
第1希望					
第2希望					
第3希望					